

第2節 遊水地課

〔総括概要〕

遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整関係、普及啓発関係及び環境保全・ワイズユース関係である。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、渡良瀬遊水地を仮想の国ハートランドと位置づけた「ハートランド構想」に基づき、昨年度策定した渡良瀬遊水地の基本計画「ハートランドプラン」の実施計画である「アクションプラン」を策定した。また、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会などの庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。

渡良瀬遊水地の普及啓発については、栃木女子高等学校美術部の協力のもとキャラクターを活用したハートランドマップを製作した。また、ラムサール条約登録記念日の制定によるPRの実施、各種イベントへのPRブースの設置、講演会の開催など、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持っていただけるようなPR事業を行った。

環境保全・ワイズユースについては、環境保全の基本となる渡良瀬遊水地の現状を把握するため生態系調査として、植物の文献調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種復活プロジェクト等の活動を行った。

遊水地担当

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) ハートランド構想・ハートランドプラン・アクションプラン

渡良瀬遊水地を仮想の国「ハートランド」と位置づけたハートランド構想に基づき、昨年度、渡良瀬遊水地の基本計画である「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」を策定し、その実施計画である「アクションプラン 渡良瀬^{ナイツ}712「20の誓い」」を策定した。このアクションプランは、ハートランドプランで掲げた渡良瀬^{ナイツ}712の誓いを達成するために、いつ、だれが、どんなことを実施するのかを示したものである。

(2) 渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議

渡良瀬遊水地の事業について、庁内各課が連携を図りながら全庁的に取り組むため、平成25年度に渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議を設置した。会議は庁内関係部署18課の課長級職員及びチームリーダーで構成し、本年度ハートランドアクションプランを策定したことにより、今後は、遊水地課と各課間とで協力して事業を行っていくため、本年度いっぱいでの会議は解散となった。

(3) 各種事業支援

藤岡総合支所所管の渡良瀬遊水地フェスティバル2015、渡良瀬遊水地ボランティア養成講座などの庁内各課事業、また、Organic Run in渡良瀬遊水地など各団体主催の渡良瀬遊水地及びハートランド構想に関連する事業について支援を行った。

(4) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において開催される「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議主管者会議」に出席した。

- ・実施日 7月9日（木）～7月10日（金）
- ・会場 若狭みかたきらら温泉 水月花（福井県若狭町）
- ・参加市町村 ラムサール条約登録湿地50か所のうち19か所23市町村

(5) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

平成25年度より、渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会、治水団体、利用者団体、環境保護団体など44の構成員を以て、各団体の情報共有・意見交換の場として「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が発足した。平成27年8月より2年間栃木市長が会長、小山市長、古河市長、野木町長、板倉町長、加須市長が副会長となった。

また、3回の準備会を経て「賢明な利活用部会」が組織され、2か月に1回部会の構成員が集まり、情報共有・意見交換の場として活用されており、この部会で内容を検討した「渡良瀬遊水地 人と自然にやさしい10のマナー」が国土交通省利根川上流河川事務所により12月に作成された。

10月からは「湿地保全・再生検討部会」が開催され、渡良瀬遊水地の現況や課題について専門家からお話を伺い、部会員間の情報共有や共通認識を図った。

第3回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 8月3日（月）
- ・会場 国土交通省利根川上流河川事務所 大会議室
- ・参加団体数 36団体

2 渡良瀬遊水地普及啓発

(1) 渡良瀬遊水地ハートランドマップの製作

渡良瀬遊水地を子ども達に身近に感じてもらい、興味を持ってもらうために、渡良瀬遊水地のキャラクターを活用したマップを製作した。栃木女子高等学校美術部にキャラクター及びマップの作画を依頼し、地元の高校生との協働にて制作を行い、来訪者への配布やPR活動に活用してもらうため、渡良瀬遊水地内・外の施設をはじめ、市内の観光案内所・道の駅などに配布した。

(2) 渡良瀬遊水地キャラクターの使用及び着ぐるみPR活動

渡良瀬遊水地キャラクターの使用について使用要綱を定め、キャラクター商品の製作などを可能にした。

また、昨年度制作した^{ハーツ}Hearts姫、^{わたらせナイフ}Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで環境省主催のエコライフ・フェア2015へ参加し、PR活動を行った。他にも渡良瀬遊水地フェスティバル、栃木市ウォーキング大会、板倉まつりなど、渡良瀬遊水地及び藤岡地域を中心に市内・外で開催されたイベント等に参加し、渡良瀬遊水地のPR活動を行った。

(3) 栃木市渡良瀬遊水地講演会の開催

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、講演会を開催した。ロビーにおいて国土交通省利根川上流河川事務所から借用した治水や利水に関するパネル及び渡良瀬遊水地アクション振興財団から借用した、絶滅危惧植物や希少な野鳥のパネルを展示

した。また、栃木市が作成した渡良瀬遊水地の絵本『ハートランドのかくれんぼ』やヨシ紙製品の販売を行った。

- ・実施日 2月6日（土）
- ・会場 栃木市岩舟文化会館
- ・来場者数 320人
- ・内容
 - 第1部 渡良瀬遊水地の見どころ紹介（渡良瀬遊水地ガイドクラブ）
絵本の読み聞かせ「ハートランドのかくれんぼ」
(朗読ボランティア虹の会)
 - 第2部 講演会 「自然と向き合う～ロードバイクとともに～」
 - ・講師 片山右京氏 元F1ドライバー、プロ自転車チーム「TeamUKYO」代表
 - ・案内役 柿沼 章氏 宇都宮ブリッツェン運営会社 代表取締役社長
 - ・対談 片山右京氏、柿沼 章氏、鈴木俊美市長

(4) 渡良瀬遊水地ガイドクラブ発足後の支援

4月から発足した渡良瀬遊水地ガイドクラブの定例会に参加し、ガイドに必要な資料及び物品の準備など組織運営の支援を行った。

- ・ガイド案内実績

	ガイド活動	遊水池会館 管理業務	合計
活動日数 (日)	142	46	188
ガイド担当者(延べ人数)(人)	226	46	272
案内者数 (人)	2,433	786	3,219

(5) ラムサール条約登録記念日の制定

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日を、ラムサール条約登録記念日とした。また、7・8月をPR強化月間とし、各種PR活動を行った。

- ・栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示
- ・栃木市内公共機関へののぼり旗の掲示
- ・7月5日（日）道の駅みかも ラムサール条約登録記念日イベントの開催
- ・8月毎週水曜日、土曜日（全10回）「渡良瀬遊水地ぐるり旅」の開催
- ・8月9日（日）「谷中湖周辺めぐりウォーキング」の開催

(6) エコライフ・フェア2015「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」へ出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、環境省主催『エコライフ・フェア2015「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」』に職員5人を派遣し、2日間に渡るPR活動を行った。ポスター掲示及びチラシ設置の他、7日は渡良瀬遊水地キャラクターの^{ハーツ}Heart's姫、^{わたらせナイン}Watarase712もPR活動に参加した。

- ・実施日 6月6日（土）～7日（日）
- ・会場 代々木公園（東京都渋谷区）
- ・来場者数 116,000人（2日間合計、本部集計）

(7) 渡良瀬遊水地 P R 活動

渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントで普及啓発ブースを設置し、パネル展示やチラシ配布等を行い、P R 活動を行った。

ア 藤岡さくらまつり

- ・実施日 4月4日（土）・5日（日）
- ・会場 藤岡運動公園

イ 渡良瀬遊水地フェスティバル2015

- ・実施日 9月6日（日）
- ・会場 渡良瀬遊水地子供広場ゾーン

ウ ふじおか産業祭

- ・実施日 11月21日（土）
- ・会場 藤岡遊水池会館駐車場

3 渡良瀬遊水地保全活動

(1) 希少植物保全のための外来植物除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しており、その1つであるノジトラノオ（環境省レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類（VU））の生育を保全するため、植物の専門家による希少植物保全の必要性の説明を受けた後、抜き取りによる外来植物の除去活動を行った。なお、栃木県の主催事業であり、栃木市との共催事業となっている。

- ・実施日 5月17日（日）
- ・場所 渡良瀬遊水地 第1調節池内
- ・参加者 50名

(2) 渡良瀬遊水地生態系文献調査業務

渡良瀬遊水地の絶滅危惧植物や希少植物を保全するために必要となる、生息地のマップを作成するにあたり、過去の分布データ及び各種文献の基礎資料を収集・分析し、現地調査に向けた基礎資料を作成する委託業務を実施した。

(3) 渡良瀬遊水地絶滅危惧種復活プロジェクト

かつては植生が確認できたが、今では確認することができなくなった絶滅危惧植物のミズアオイの再生に向けた取り組みを市民参加型事業として実施した。希少植物保全の重要性及び保全していくための継続的な生育観察の必要性を市民に理解してもらうことを目的として、まずはミズアオイの特性を学び、次に掘り起こし作業を行い、ヨシの地下茎の状況や地下水の有無など再生地掘削前の現地確認作業を実施した。

(4) 渡良瀬遊水地のファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」発足に向けた取り組み

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ今の渡良瀬遊水地をより良くするために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを28年4月に発足するに当たり、会員証や会員向けのピンバッジの作製及び入会手続きが容易にできるよう電子申請による入会申込フォームの作成を行った。